

## 第4章 沖縄県の将来像

第4章では、第3章で示した課題を解決し、2050年までに目指したい沖縄県の姿について記載しています。

### 1. 基本理念（2050年将来像）

基本理念（2050年将来像）を下記の通り設定しました。第一次戦略での将来像を踏襲しています。

#### 「自然を大切に<sup>ちむぐる</sup>する真心と、いきものとのゆいまーるを育む島々」

沖縄県らしい自然と歴史、伝統・文化を大切にし、生物多様性を維持・回復させることで、「自然と共生する社会」を目指し、持続可能な沖縄県の発展と誰一人取り残さない社会の実現を目指します。

そして、次世代にもこの美ら島を残していけるように取り組んでいきます。

沖縄県にある美しい自然、固有の生きものや独自の伝統・文化は、長い歴史の中でつくられたかけがえのないものです。自然は時に厳しく台風や地震のような災害や離岸流による水難事故のような脅威になります。一方で、自然や伝統・文化を大切にし、上手に向き合うことで、私たちの生活を豊かにしてくれるものでもあり、観光をはじめとした各種産業や教育の発展の基盤となるものです。私たちは、この沖縄県に残された自然、伝統・文化を大切にし、次世代につないでいかなければなりません。

第3次沖縄県環境基本計画におけるアンケート結果では、「県民の望む将来像」として、平成13年から令和3年にかけて変わることなく「美しい自然と共存する社会」が最も望まれていました。また生物多様性国家戦略 2023-2030 が掲げる 2050年ビジョンにおいても、「自然と共生する社会」となっています。

以上を踏まえて、沖縄県においても「自然と共生する社会」を目指すところから、「自然を大切に<sup>ちむぐる</sup>する真心と、いきものとのゆいまーるを育む島々」を本戦略の基本理念（2050年将来像）として設定しました。

## 2. 沖縄県における地域ごとの将来像

沖縄県は大小様々な島からなる島嶼県です。便宜的に県内を4つの地域に分けて、「目指すべき地域の将来像」を設定しました。将来像は前戦略で掲げたものを踏襲しています。

### (1) 沖縄島（北部・中南部）の目指すべき将来像

**北部**：「森と海とのつながりを大切にし、人々の生活と自然の営みが調和している地域」

**中南部**：「よみがえる自然に生きものが集い、生活の中に生きものとのつながりを感じる地域」

### (2) 宮古諸島の目指すべき将来像

「恵みの雨が島を潤し、循環していくなかで、人々の生活と自然の営みが調和している島々」

### (3) 八重山諸島の目指すべき将来像

「豊かなサンゴ礁と原生の森にすむ生きものたちが、人々のやさしさで生まれ、多くの人々に大切にされている島々」

### (4) 沖縄島周辺諸島及び大東諸島の目指すべき将来像

「小さな島の個性豊かな自然を、島の人々の知恵とやさしさで育む島々」

イラストにて各地域の生物多様性に関わる将来像のイメージを示していきます。

(1) 沖縄島（北部・中南部）

■ 北部地域の将来像 ■

森と海とのつながりを大切に、人々の生活と自然の営みが調和している地域

陸域環境

【主な課題】

- ④ ヤンバルクイナ、ケナガネズミ、イボイモリなど野生動物の**ロードキル**（交通事故）や道路側溝での乾燥死等が発生している。



【将来像】

- ④ アンダーパスの設置やIT技術を活用した**ロードキル対策**が進み、野生動物への影響が低減する。



アンダーパス（クイナトンネル）  
※やんばるロードネット（北部国道事務所HP）

基地問題

【主な課題】

- ⑩ 米軍施設内の開発や騒音、赤土流出等による影響が懸念されるが、自然環境や文化的資源（御嶽や史跡等）の現状が十分に把握できていない。

【将来像】

- ⑩ 米軍施設内の自然・文化資源調査が進み、生物多様性に関する情報共有や保全への取組みが進んでいる。



辺野古・大浦湾周辺海域

引用：「沖縄から伝えたい。米軍基地の話。Q&A Book 令和5年版」（沖縄県HP）

陸～海の広域または共通

【主な課題】

- ⑩ マングース等の**侵略的外来種**（ペット由来含む）の放逐、侵入、分布拡大が、生態系に重大な影響を及ぼしている。  
⑪ リュウキュウヤマガメやヤンバルテナゴガネ、野生ラン等の希少野生動植物の**密猟・盗掘**が懸念される。



【将来像】

- ⑩⑪ 科学的・計画的な外来種対策や密猟・盗掘防止パトロール、IT技術を活用した監視システム等の対策が進み、希少野生動物種への影響が低減し、**在来生態系が拡大**している。

【主な課題】

- ⑫ 森林や海岸等でごみの不法投棄が多く、生態系への影響が懸念される。

【将来像】

- ⑫ 普及啓発や監視による**不法投棄の減少**により、美しい自然環境が保全されている。



引用：本部町役場HP



\* 番号は県全体の課題（p84-85）から引用しています。

・ ロードキル対策、密猟等の防止、外来種の減少などにより、在来生態系が拡大

## ■ 中南部地域の将来像 ■

よみがえる自然に生きものが集い、生活の中に生きものとのつながりを感じる地域

### 陸域環境

#### 【主な課題】

- ③ダム等の横断工作物、単調な河川改修により、**河川等の水生生物の生息地が分断・劣化**している。

#### 【将来像】

- ③魚道の設置、多自然川づくり、自然再生等により河川の**多様性や連続性が確保**され、水生生物の多様性が回復している。

### 沿岸・海域環境

#### 【主な課題】

- ⑦河口域の mangrove 分布域の急拡大に伴い、**干潟面積が減少**し、水生生物の種構成変化、水鳥の減少などの影響を及ぼしている。

#### 【将来像】

- ⑦河口域における mangrove 分布域の管理が継続的に実施されることにより、**干潟面積が維持**され、底生生物や水鳥類がたくさん確認されるようになっている。

### 陸～海の広域または共通

#### 【主な課題】

- ⑨大面積の造成や埋立、**開発等**により、動植物の生育・生息環境が消失している。

#### 【将来像】

- ⑨開発等により失われた自然環境を再生、自然共生サイトへの登録等により自然環境が適切かつ良好に維持・管理されている。

#### 【主な課題】

- ⑬**生活排水や赤土等の流出**が、河川や海域の生物に影響を及ぼしている。

#### 【将来像】

- ⑬**赤土等の流出防止のための総合的な対策**が効果を発揮し、河川や海域の生物への影響が低減している。

### 自然資源の保全と利用

#### 【主な課題】

- ⑮多くの中下流河川で整備により人が近づきづらくなり、市街地域では、オープンスペースや緑地が減少し、**自然との触れ合いの機会**が減っている。

#### 【将来像】

- ⑮街の至る所に**自然との触れ合いの場**があり、身近に自然を感じることができる。



1995



2005

マングローブの拡大の様子（饒波川）



人と自然の触れ合いの様子

マングローブの拡大の様子の写真<sup>81</sup>

<sup>81</sup> 植栽したマングローブ林の現況(2019年) 上野ら

## 現状



## 将来像



\* 番号は県全体の課題（84-85）から引用しています。

- ・ 外来種の減少などにより、在来生態系が拡大
- ・ 開発によって失われた自然が代替措置などによって再生されていたり、緑化面積が増加したりすることで、自然と触れ合う機会が増化

## (2) 宮古諸島

### ■宮古諸島の将来像■

恵みの雨が島を潤し、循環していくなかで、人々の生活と自然の営みが調和している島々

#### 陸～海の広域または共通

##### 【主な課題】

- ⑩インドクジャク、ニホンイタチ、ヤエヤマシシガメ等**侵略的外来種**の放逐、侵入、分布拡大が、生態系に重大な影響を及ぼしている。
- ⑪ミヤコカナヘビ、ヤシガニ、オカヤドカリ類などの希少野生動植物の**密猟・盗掘**が懸念される。

##### 【将来像】

- ⑩⑪科学的・計画的な外来種対策や密猟・盗掘防止パトロール、IT技術を活用した監視システム等の対策が進み、希少野生動物種への影響が低減し、**在来生態系が拡大**している。

##### 【主な課題】

- ⑨大面積の造成や埋立、**開発等**により、動植物の生育・生息環境が消失している。

##### 【将来像】

- ⑨開発等により失われた**自然環境**の再生や**自然共生サイト**の登録により、自然環境が適切かつ良好に維持・管理されている。

##### 【主な課題】

- ⑬主要な水源が地下水や湧水であるため、観光客の増加に伴う水需要の増加や、開発や生活排水、農業、畜産業等に起因する有害物質の流入による**地下水環境の悪化**が懸念される。

##### 【将来像】

- ⑬生活排水、農業、畜産業等に関する**地下水汚染等防止のための総合的な対策**が効果を発揮し、地下水資源が適切に管理されることで、生態系への影響が低減している。



袖山浄水場（宮古島市水道部HP）

#### 沿岸・海域環境

##### 【主な課題】

- ⑤⑥**白化現象**、**オニヒトデ**等の異常発生により、サンゴ礁環境が衰退している。

##### 【将来像】

- ⑤⑥**気候変動適応策**や**オニヒトデ**、**赤土**等の対策が総合的に効果を発揮し、**サンゴ礁環境が回復**し、良好に維持されている。

#### 自然資源の保全と利用

##### 【主な課題】

- ⑭ダイビングでのサンゴ損傷等の観光客の**過剰・不適切な利用**による生態系への影響が懸念される。

##### 【将来像】

- ⑭普及啓発活動によりルールやマナーが遵守され、適切な距離感で人と自然が関わり、**適正な観光利用**が図られている。



## 現状



## 将来像



\* 番号は県全体の課題（p84-85）から引用しています。

・ 開発によって失われた自然が代替措置など再生・維持、密猟の防止などにより在来生態系が拡大。

### (3) 八重山諸島

#### ■八重山諸島の将来像■

豊かなサンゴ礁と原生の森にすむ生きものたちが、人々のやさしさで生まれ、  
多くの人々に大切にされている島々

#### 陸域環境

##### 【主な課題】

- ④イリオモテヤマネコ、カンムリワシ、ヤエヤマセマルハコガメなど野生動物の**ロードキル**（交通事故）や道路側溝での乾燥死等が発生している。

##### 【将来像】

- ④普及啓発活動やIT技術を活用した**ロードキル対策**が進み、野生動物への影響が低減する。



#### 沿岸・海域環境

##### 【主な課題】

- ⑤⑥**白化現象、オニヒトデ**等の異常発生により、サンゴ礁環境が衰退している。

##### 【将来像】

- ⑤⑥地球温暖化対策やオニヒトデ、赤土等の対策が総合的に効果を発揮し、**サンゴ礁環境が回復**し、良好に維持されている。

#### 陸～海の広域または共通

##### 【主な課題】

- ⑩グリーンイグアナ、オオヒキガエル、ノヤギ、インドクジャク、コウライキジなどの**侵略的外来種**の放逐、侵入、分布拡大が、生態系に重大な影響を及ぼしている。石垣島等に定着している侵略的外来生物（ツルヒヨドリやオオヒキガエル、シロアゴガエル等）が**他の離島に侵入・拡散**する懸念がある。
- ⑪ヤエヤマセマルハコガメ、マルバネクワガタ類、イシガキスミレ、イリオモテトンボソウ、イリオモテランランなどの希少野生動物植物の**密猟・盗掘**が懸念される。

##### 【将来像】

- ⑩⑪科学的・計画的な外来種対策や密猟・盗掘防止パトロール、IT技術を活用した監視システム等の対策が進み、希少野生動物種への影響が低減し、**在来生態系が拡大**している。

#### 自然資源の保全と利用

##### 【主な課題】

- ⑭登山道の土壌侵食や溪流植生の踏み荒らし、ダイビングでのサンゴ損傷等の観光客の**過剰・不適切な利用**による生態系への影響が懸念される。



滝つぼの混雑状況（西表島）がある。  
引用：西表島エコツーリズム推進全体構想

##### 【主な課題】

- ⑯グリーンツーリズム等の推進によって、農業や食文化、伝統文化の体験等の多様な観光を発展させることで、地域全体の活性化につなげるとともに、特定地域の過剰な利用を抑制する必要がある。

##### 【将来像】

- ⑭普及啓発活動によりルールやマナーが遵守され、適切な距離感で人と自然が関わり、**適切な観光利用**が図られている。

##### 【将来像】

- ⑯様々な地域で、農業、食文化、伝統文化等の多様な観光による**地域資源の活用**により、地域全体が活性化している。

## 現状



## 将来像



\* 番号は県全体の課題（p84-85）から引用しています。

- ・ 保護区の拡大、外来種の減少、密猟の防止などにより在来生態系が拡大
- ・ 適正な観光利用で在来生態系を維持・回復

#### (4) 沖縄島周辺諸島及び大東諸島

### ■ 沖縄島周辺諸島及び大東諸島の将来像 ■

小さな島の個性豊かな自然を、島の人々の知恵とやさしさで育む島々

#### 沿岸・海域環境

##### 【主な課題】

- ⑧漂着ゴミやマイクロプラスチックが、海岸や海域の生態系に影響を及ぼしている。

##### 【将来像】

- ⑧漂着ゴミの計画的・自発的な回収により、美しい自然環境が保全されている。

写真①漂着ゴミ（粟国島：沖縄県環境整備課資料）

⑦チームけらまのビーチクリーン活動

（引用：ケラマ諸島観光案内所HP）



#### 陸～海の広域または共通

##### 【主な課題】

- ⑩サイカブト（タイワンカブトムシ）、ノヤギ、ニホンイタチなどの**侵略的外来種**の放逐または侵入、分布拡大が、生態系に重大な影響を及ぼしている。  
沖縄島や座間味島等に定着している**侵略的外来種**（グリーンアノールなど）が他の離島に**侵入・拡散**する懸念がある。  
**小さい面積の島嶼**のため、外来種の侵入や開発などの諸要因によって島嶼生態系が打撃を受けやすい。

##### 【将来像】

- ⑩科学的・計画的な対策や、離島間での侵略的外来種の侵入予防策が図られ、各島の在来生態系が拡大している。

#### 自然資源の保全と利用

##### 【主な課題】

- ⑭ダイビングでのサンゴ損傷等の観光客の**過剰・不適切な利用**による生態系への影響が懸念される。

##### 【将来像】

- ⑭普及啓発活動によりルールやマナーが遵守され、適切な距離感で人と自然が関わり、**適切な観光利用**が図られている。



##### 【主な課題】

- ⑯グリーンツーリズム等の推進によって、農業や食文化、伝統文化の体験等の多様な観光を発展させることで、地域全体の活性化につなげるとともに、特定地域の過剰な利用を抑制する必要がある。

##### 【将来像】

- ⑯様々な地域で、農業、食文化、伝統文化等の多様な観光による**地域資源の活用**により、地域全体が活性化している。

## 現状



## 将来像



\* 番号は県全体の課題（p84-85）から引用しています。

- ・ 保護区の拡大、外来種の減少、密猟の防止などにより在来生態系が拡大
- ・ 適正な観光利用で在来生態系を維持・回復
- ・ 漂着物の定期的な回収により、きれいな海岸を維持